

平成19年度(2007年度) 建設コストの計画と実績

	道路名(区間名)	債務引受 限度額 (計画) (A)	債務引受額 (実績)			(D)-(A)	債務引受限度額と債務引受額についてのコメント
			平成18年度 (B)	平成19年度 (C)	計 (D)=(B)+(C)		
中 日 本 高 速 道 路 網	近畿自動車道名古屋山線 清洲JCT改築事業	1,252	0	467	467	784	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も調整池設置及び電波障害などの残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	一般国道475号(東海環状自動車道) 五斗蒔PA改築事業	1,110	0	858	858	251	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も完成図作成等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道) 八王子JCT～あきる野IC新設事業 9.2km	15,967	0	13,476	13,476	2,490	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も立入防止柵設置及び環境緑地帯の造園工事等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	中央自動車道富士吉田線 八王子JCT(北側)新設事業	10,424	0	9,992	9,992	431	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も立入防止柵設置及び移管に伴うのり面対策工事等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	第二東海自動車道横浜名古屋線 長泉沼津IC～引佐IC新設事業	1,213,735	0	104	104	1,213,630	本線工事は完成し、平成24年度を予定している。平成19年度は、三ヶ日JCT整備に伴い東名高速道路の三ヶ日BSを移設したため、一部供用を行った。
	近畿自動車道名古屋神戸線 亀山JCT～甲賀土山IC新設事業 13.5km	47,347	0	40,278	40,278	7,068	本線工事は完成し供用を開始しているが、開通後も工事用道路復旧等の残事業を引き続き実施する必要があること等による。
	近畿自動車道尾鷲多気線 大宮大台IC～勢和多気IC改築事業	397	0	326	326	70	関係機関との協議の結果、工事用道路の補修範囲やのり面対策の見直し等による減。
	中央自動車道富士吉田線等 平成19年度修繕事業	43,914	-	24,994	24,994	18,919	工事の発注規模の大型化による複数年度工期設定に伴う機構引渡し時期見直し等による。
	一般国道1号(箱根新道) 平成19年度修繕事業	187	-	54	54	133	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等による。
	一般国道16号(八王子バイパス) 平成19年度修繕事業	107	-	52	52	55	点検結果等により、計画年度を次年度以降に見直したこと等による。
	一般国道139号(西富士道路) 平成19年度修繕事業	225	-	224	224	0	
中央自動車道富士吉田線等 災害復旧事業	30,292	94	235	330	29,961	災害復旧事業費については、安全性を考慮し、過去の実績をもとに45年分の額を債務引受限度額として設定している。平成19年度は、平成18年7月豪雨で被災した箇所の復旧工事の一部の引渡しを行っている。	

注1)平成19年度(2007年度)に債務引受けを行ったものについて、継続中事業を含めすべて記載している。なお、[ ]は、平成19年度に完了している事業である。

注2)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

注3)修繕事業に関する債務引受限度額(計画)は、平成19年度までの債務引受限度額(計画)の累計から、平成18年度の債務引受額(実績)を控除している額である。